

公益社団法人 日本地下水学会  
2018年度 事業報告書

本学会における事業は以下のように分類されている。

- 公益事業-1 [公1]：地下水に関する学術結果等を収集、編集、公表する事業
- 公益事業-2 [公2]：地下水に関する講習会、シンポジウム、見学会等を開催する事業
- 公益事業-3 [公3]：地下水に関する特定テーマの技術開発、研究等を行う事業
- 公益事業-4 [公4]：地下水に関する相談事業
- その他 [他1]：表彰事業
- 共通事業 [共通]：共通事業

それぞれの項目毎に事業報告を記す。

## [公1] 地下水に関する学術結果等を収集、編集、公表する事業

### 1. 会誌編集事業

- ① 会誌60巻2号、3号、4号、61巻1号の編集および発行を行った。2号は特集「水循環基本計画の下での地下水に関する取り組み」および「地下水-地表水交流過程；その物質輸送および生態系への影響」を、3号は連載資料「地域の取り組みに関する意見交換会」、4号は特集「地下水と地熱・地中熱エネルギーの利用」を、61巻1号は特集「津波に伴う地下水影響とその後の回復」をそれぞれ含み発刊した。60巻の総ページは583であった。
- ② Web投稿・審査（編集管理）システム（Editorial Manager）の活用により、平均査読期間、受理・掲載までの期間をそれぞれ短縮したことを、3号会告にて報告した。
- ③ 4月から「若手のページ」編集グループを新設し、3号から「すぷりんぐ」の一部で掲載（隔号で計画）を開始した。
- ④ 特集号および誌面講座についてゲストエディターの募集を継続するとともに、1件の誌面講座企画「現場新技術」および2件の特集「降雨浸透過程モデリング」「トンネルと地下水」が次年度発行に向けて準備に入った。

### 2. 定期講演会等の主催

- ①（公社）日本地下水学会春季講演会  
日時：2018年5月19日（土）  
場所：埼玉県 埼玉大学キャンパス 総合研究棟 他  
参加者数等：参加者数126名、講演件数22件うちポスター発表数10件、展示件数4社
- ②（公社）日本地下水学会秋季講演会  
日時：2018年10月25（木）、26（金）、27日（土）  
場所：愛媛県松山市 市立子規記念博物館 他  
参加者数等：参加者数131名、講演件数47件うちポスター発表数11件、展示件数2社
- ③第24回 地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会  
主催：（公社）日本地下水学会、（公社）地盤工学会、（公社）日本水環境学会、（一社）廃棄物資源循環学会、（一社）土壌環境センター  
日時：2018年10月30日（火）、31日（水）、11月1日（木）  
場所：とうほう・みんなの文化センター（福島県文化センター）  
発表件数：173件、企業展示：26社

### 3. 講演会等の後援、協賛

- ① (公社)日本河川協会日本水大賞委員会主催:第21回日本水大賞、後援
- ② 日本地球惑星連合主催:JpGU「水循環・水環境」セッション、JpGU「熊本地震と地下水」セッション、JpGU「流域の物質輸送と栄養塩循環ー人間活動および気候変動の影響ー」セッション、2018年5月20日~24日、幕張メッセ、共催
- ③ (一社)地下水技術協会、(一社)全国さく井協会主催:春期講習会2018初級技術者のための地下水講座-地下水と揚水-、2018年6月1日、ティアラこうとう、協賛
- ④ 再生可能エネルギー協議会主催:グラント再生可能エネルギー2018国際会議、2018年6月17日~22日、パシフィコ横浜、協賛
- ⑤ (公社)地盤工学会主催:地下水調査に用いる井戸理論と実務講習会、2018年6月25日、地盤工学会大会議室、後援
- ⑥ フジサンケイビジネスアイ主催:地盤技術フォーラム2018、2018年9月26日~28日、東京ビッグサイト、協賛
- ⑦ 茨城県、(公財)国際湖沼環境委員会主催:第17回世界湖沼会議、2018年10月15日~19日、つくば国際会議場、後援
- ⑧ (公社)地盤工学会主催:現場実験から把握する地下水の実流速(その2)、2018年10月19日、日本大学文理学部百周年記念館、後援
- ⑨ (公社)地盤工学会主催:Kansai Geo-Symposium2018ー地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウムー、2018年11月2日、関西大学100周年記念会館、協賛
- ⑩ (一社)全国さく井協会主催:いい井戸の日2018、2018年11月8日、メルパルク OSAKA、協賛
- ⑪ 日本地熱学会主催:日本地熱学会平成30年度学術講演会、2018年11月13日~16日、北とぴあ、協賛
- ⑫ NPO 法人地中熱&地下水資源活用 NET 主催:第7回トークセッション水リスク私たちが直面する水問題、特に地下水資源の脆弱性、2019年2月2日、岐阜大学サテライトキャンパス、共催

### 4. 出版事業

地下水に関する啓発書として、市民コミュニケーション委員会による「のぞいてみよう しぜんかがく みず」(株式会社パイインターナショナル)の監修、「地下水・湧水の疑問」(仮)等の出版に関する企画検討を行った。

## [公2] 地下水に関する講習会、シンポジウム、見学会等を開催する事業

### 1. 講習会事業

- ① 現場調査(水文調査)講習会  
日時:2018年6月28日(木)、29日(金)2日間  
場所:1日目:三鷹産業プラザ  
2日目:(野外実習)東京都国分寺「お鷹の道・真姿の池」周辺  
(データまとめ・質疑)国分寺市立いづみホール 会議室  
主催:(公社)日本地下水学会  
受講者数:7名
- ② 地下水シミュレーション(移流分散解析)講習会  
日時:2018年7月4日(木)、5日(金)2日間  
場所:日本大学文理学部 百周年記念館 第二会議室  
主催:(公社)日本地下水学会  
受講者数:18名

## 2. シンポジウム・セミナー開催事業

- ① セミナー「山岳地域の水文地質学 ―世界の水源調達を供給する地下水の重要な役割―」  
日時：2018年5月18日（金）14:00～17:30  
場所：日本大学文理学部 百周年記念館国際会議場  
主催：（公社）日本地下水学会  
共催：日本水文科学会、IAH Japan  
後援：（公社）地盤工学会、（一社）水文・水資源学会、  
（一社）全国地質調査業協会連合会  
参加者数：97名
- ② セミナー「The role of inter basin groundwater flow and hydrogeologic processes」  
日時：2018年9月4日（火）15:00～16:50  
場所：東京大学柏の葉キャンパス 環境棟 4階会議室  
主催：（公社）日本地下水学会  
参加者数：18名
- ③ シンポジウム「わが国における地下水ガバナンスの現状と課題 ―社会系科学の側面から―」  
日時：2019年1月25日（金）13:00～17:50  
場所：エッサム神田ホール2号館  
主催：（公社）日本地下水学会  
後援：（公社）土木学会、（公社）地盤工学会、（公社）雨水貯留浸透技術協会、  
（一社）水文・水資源学会、（一社）全国地質調査業協会連合会、  
日本水文科学会  
参加者数：90名

## 3. 見学会の開催

一般市民向けの湧水見学ツアー「湧水めぐり in 八王子」を2018年10月20日（土）に実施した。  
参加者：22名

## [公3]：地下水に関する特定テーマの技術開発、研究等を行う事業

### 1. 研究グループ活動

- ① 「熊本地震対応調査・研究グループ」の活動を本格化させ、「地下水位」・「地下水質」・「地下水モデル」・「地下水温」・「地下水利用・保全」といった5つのサブグループごとに研究活動に取り組み、その成果報告として、2018年5月20～24日に幕張メッセで開催された日本地球惑星科学連合2018年大会において特別セッション「熊本地震にともなう地表水と地下水の変化」を設け、ポスター発表および口頭発表を行った。また、2018年9月9日～14日に韓国大田で開催されたIAH2018において日本地下水学会特別セッション「Effect of 2016 Kumamoto Earthquake (M7.3) to the local groundwater system」を設け、ポスター発表および口頭発表を行った。
- ② 「地域地下水情報データベース」に文献（地下水学会誌及び水文・水資源学会誌）を追加し、アップデートした。
- ③ 「地下水ガバナンス等に関する調査・研究グループ」の委員募集を行い、活動を開始した。2018年春季講演会（埼玉大学）において、特別セッション「地下水利用ガバナンス」を設け、口頭発表による最初の報告を行った。さらに、2019年1月25日のシンポジウム「わが国における地下水ガバナンスの現状と課題 ―社会系科学の側面から―」では、中間的な成果報告を行った。
- ④ 「水循環における地下水の科学に関する調査・研究グループ」の代表者を決定した。

- ⑤ 「地下水流動解析コード検証事例作成のための調査・研究グループ」の活動を継続し、地下水流動解析の信頼性向上に向けた解析コード検証のための事例集の作成、講習会開催に向けた活動を行った。
- ⑥ 「降雨浸透過程モデリングに関する研究委員会」の委員募集を行い、活動を開始した。2018年秋季講演会（松山市）において活動報告として、口頭発表を行った。

## 2. 受託事業

国立研究開発法人産業技術総合研究所から「平成30年度「沿岸部処分システム高度化開発」委員会に係る成果評価のとりまとめ作業」を受託した。

## 3. 優れた若手研究者・技術者、研究グループ等の活動助成

地下水研究に携わる若手研究者・技術者が独創的な着想に基づいて主体的に行う研究を奨励する「2018年度 若手地下水研究助成」を公募し、2名の応募者に対して審査を行った。

### [公4]：地下水に関する相談事業

HP「市民コミュニケーション委員会」上にて、地下水に関する質問の受付と回答を行った（質問件数36件）。

### [他1] 表彰関連

春季・秋季講演会での若手優秀講演賞5名を決定した。

### [共通]

#### 1. 国内外関連団体交流

- ① IAH Japanの事務局を当学会内におき、その事務業務の一部を行った。
- ② 地球惑星科学連合の各種委員会に委員を派遣した。
- ③ 地球惑星科学連合大会において、セッション提案を行った。
- ④ 地球惑星科学連合の代議員選挙において学会内の事務業務を行った。
- ⑤ 地球惑星科学連合の「夢ロードマップ」の作成を行った。
- ⑥ HRL誌運営委員会に委員を派遣した。
- ⑦ HRL誌の編集委員会に編集幹事1名、編集委員2名を派遣した。
- ⑧ NGWAとの協定を継続した。
- ⑨ とうきゅう環境財団の社会貢献学術賞に候補者を推薦した。

#### 2. 学会情報普及に関する活動

- ① 学会員を含む広く一般の方々を対象に、ホームページ上に学会及び関連団体等の最新情報を掲示・更新した。
- ② HP「市民コミュニケーション委員会」上にて、「地下水ブックガイド」を掲載する等の情報発信を行った。
- ③ 英文ホームページを運用すると共に海外関連団体の行事等を紹介した。
- ④ ソーシャル・ネットワーキング・サービスを利用した学会情報発信の運用を開始した。
- ⑤ メール配信を希望する会員を対象に、メールニュースを発信した。
- ⑥ 2018年度（2018/4/1～2019/3/31）のHPアクセス数は164,865件であった。
- ⑦ インターネットを通じた学会運営の効率化を図った。
- ⑧ 自治体との意見交換会（福井県大野市2018年6月13日、愛媛県西条市2018年10月25日）を開催し、地域の取り組みや課題を把握するとともに、学会誌（第61巻第1号掲載）を

通して情報発信を行った。

### 3. 会計

- ① 公益目的事業毎の会計体系内で、収支相償、公益目的事業比率50%以上の確保等の認定条件を維持するよう運営・管理した。
- ② 未納会費の徴収、経費の節減に取り組んだ。

### 4. 若手支援・男女共同参画に関する活動

- ① 若手セミナー「海外留学や就職を目指す若手研究者のために ―カナダでの体験談―」を実施した。開催報告を学会誌の「すぷりんぐ」および学会ホームページに掲載した。  
日時：2018年5月18日（金）13：00～13：30  
場所：日本大学文理学部 百周年国際会議場  
参加者数：46名
- ② 「若手交流会」（若手の交流を図る場）を秋季講演会時に開催した。開催報告を学会誌の「すぷりんぐ」および学会ホームページに掲載した。
- ③ 講演会会期中の保育施設の紹介と託児利用料の補助事業を行った。

### 5. 技術者継続教育に関する活動

- ① ジオ・スクーリングネット、JABEE 等へ参加した。
- ② ジオ・スクーリングネットのシステムを通じて、会員の CPD 登録対応を行った。

### 6. その他

- ① 2019年度の学会創立60周年記念事業に向けて、企画検討を行った。

以上

貸借対照表 (2018年度)

2019年03月31日 現在

(単位:円)

資産の部		負債・余剰金の部		
<b>【流動資産の部】</b>		<b>10,065,612</b>	<b>【負債の部】</b>	<b>3,405,000</b>
現金等	事務局	610	未払金	0
振替貯金	ゆうちょ銀行(社団法人口座) (特定寄付金14万円を除く)	2,441,111	預り金	164,000
普通預金	みずほ銀行(社団法人口座)	6,167,040	前受金	3,241,000
	みずほ銀行(小口座)	48,487		
	みずほ銀行(寄付金口座) (特定寄付金158万円を除く、利息分のみ)	13		
前渡金	各委員会	625,268		
未収金	各委員会	243,083		
前払金	前払家賃	540,000		
<b>【固定資産の部】</b>		<b>2,020,002</b>	<b>【正味財産の部】</b>	<b>8,680,614</b>
特定資産	特定寄付金A(調査・研究委員会活動費) (みずほ銀行(寄付金口座))	700,000	<b>【一般正味財産】</b>	
	特定寄付金B(地下水学振興基金) (みずほ銀行(寄付金口座))	650,000	前年度繰り越し金	6,575,527
	特定寄付金C(60周年記念事業費) (みずほ銀行(寄付金口座)、ゆうちょ銀行)	370,000	当期収支残金	385,087
			<b>【指定正味財産】</b>	
その他の 固定資産	敷金	300,000	前年度繰越金	1,700,000
	パソコン, プリンタ	2	当期収支残金	20,000
資産合計		<b>12,085,614</b>	負債・余剰金合計	<b>12,085,614</b>

貸借対照表 内訳表

2019年03月31日 現在

(単位:円)

科目	公益目的 事業会計	収益事業 等会計	法人会計	内部取引 消去	合計
<b>I 資産の部</b>					
1. 流動資産					
現金預金	5,193,983	0	3,463,278		8,657,261
現金手許有高	0	0	610		610
振替貯金	1,464,667	0	976,444		2,441,111
ゆうちょ銀行(社団法人口座)	1,464,667	0	976,444		2,441,111
普通預金	3,729,316	0	2,486,224		6,215,540
みずほ銀行(社団法人口座)	3,700,224	0	2,466,816		6,167,040
みずほ銀行(小口口座)	29,092	0	19,395		48,487
みずほ銀行(寄付金口座)	0	0	13		13
前渡金等	625,268	0	0		625,268
編集委員会	300,000	0	0		300,000
行事委員会	325,268	0	0		325,268
未収金	243,083	0	0		243,083
市民コミュニケーション委員会	115,432	0	0		115,432
調査・研究委員会	127,651	0	0		127,651
前払金	0	0	540,000		540,000
前払家賃	0	0	540,000		540,000
流動資産合計	6,062,334	0	4,003,278		10,065,612
2. 固定資産					
特定資産	1,720,000	0	0		1,720,000
特定寄付金 A (調査・研究委員会活動費)	700,000	0	0		700,000
特定寄付金 B (地下水学振興基金)	650,000	0	0		650,000
特定寄付金 C (60周年記念事業費)	370,000	0	0		370,000
その他の固定資産固定資産	180,002	0	120,000		300,002
敷金	180,000	0	120,000		300,000
什器備品	2	0	0		2
固定資産合計	1,900,002	0	120,000		2,020,002
資産合計	7,962,336	0	4,123,278		12,085,614
<b>II 負債の部</b>					
1. 流動負債					
未払金	0	0	0		0
預り金	150,000	0	14,000		164,000
行事委員会	150,000	0	0		150,000
その他	0	0	14,000		14,000
前受金	1,620,500	0	1,620,500		3,241,000
前受会費	1,620,500	0	1,620,500		3,241,000
流動負債合計	1,770,500	0	1,634,500		3,405,000
2. 固定負債					
固定負債合計	0	0	0		0
負債合計	1,770,500	0	1,634,500		3,405,000
<b>III 正味財産の部</b>					
1. 指定正味財産	1,720,000	0	0		1,720,000
2. 一般正味財産	4,471,836	0	2,488,778		6,960,614
正味財産合計	6,191,836	0	2,488,778		8,680,614
負債および正味財産合計	7,962,336	0	4,123,278		12,085,614

# 正味財産増減計算書

2018年04月01日から 2019年03月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	6,087,000	6,394,000	-307,000
正会員受取会費	4,536,000	4,599,000	-63,000
準会員受取会費	100,000	100,000	0
特別会員受取会費	1,240,000	1,440,000	-200,000
過年度分受取会費	211,000	255,000	-44,000
事業収益	9,592,800	7,864,059	1,728,741
公1: 学術結果等を収集, 編集, 公表する事業 収益	4,407,480	4,225,890	181,590
公2: 講習会, シンポジウム, 見学会開催事業 収益	1,725,000	1,542,500	182,500
公3: 特定テーマの技術開発, 研究等事業 収益	3,460,320	2,095,669	1,364,651
公4: 地下水に関する相談事業 収益	0	0	0
その他事業: 表彰事業 収益	0	0	0
受取寄付金	1,060,000	1,223,000	-163,000
受取寄付金	1,060,000	1,223,000	-163,000
雑収入	613,855	119,802	494,053
雑収入	613,855	119,802	494,053
経常収益計	17,353,655	15,600,861	1,752,794
(2) 経常費用			
公益事業費	14,367,886	12,382,215	1,985,671
給料手当	1,923,000	1,879,440	43,560
臨時雇賃金	193,000	243,000	-50,000
会議費	797,906	1,465,236	-667,330
旅費交通費	2,305,563	2,229,998	75,565
通信運搬費	417,533	315,731	101,802
消耗什器備品費	7,108	0	7,108
消耗品費	58,945	71,846	-12,901
印刷製本費	4,646,795	4,114,198	532,597
光熱水料費	39,021	39,268	-247
賃借料	2,149,916	1,052,906	1,097,010
保険料	3,510	2,450	1,060
諸謝金	1,028,762	745,925	282,837
支払助成金	350,000	0	350,000
委託費	431,784	203,040	228,744
支払手数料	9,843	9,936	-93
雑費	5,200	9,241	-4,041
その他事業費	235,866	342,759	-106,894
給料手当	80,250	76,620	3,630
旅費交通費	72,403	60,383	12,020
通信運搬費	0	1,518	-1,518
消耗品費	0	4,419	-4,419
印刷製本費	0	5,076	-5,076
光熱水料費	3,252	3,272	-21
賃借料	75,425	71,856	3,569
支払手数料	432	540	-108
雑費	4,104	119,075	-114,971
管理費	2,364,817	2,262,872	101,944
給料手当	561,750	536,340	25,410
会議費	0	13,581	-13,581
旅費交通費	351,838	422,680	-70,842
通信運搬費	339,230	289,270	49,960
消耗什器備品費	0	3,060	-3,060
消耗品費	23,328	28,404	-5,076
光熱水料費	22,762	22,906	-144
賃借料	527,976	502,992	24,984
保険料	13,000	0	13,000
支払負担金	190,000	290,000	-100,000
委託費	314,280	114,480	199,800
支払手数料	17,302	17,034	268
雑費	3,350	22,125	-18,775
経常費用計	16,968,568	14,987,846	1,980,722
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	385,087	613,015	-227,928



(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	385,087	613,015	-227,928
一般正味財産期首残高	6,575,527	5,962,512	613,015
一般正味財産期末残高	6,960,614	6,575,527	385,087
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	370,000	0	370,000
受取寄付金	370,000	0	370,000
一般正味財産への振替額	350,000	0	350,000
一般正味財産への振替額	350,000		350,000
当期指定正味財産増減額	20,000	0	20,000
指定正味財産期首残高	1,700,000	1,700,000	0
指定正味財産期末残高	1,720,000	1,700,000	20,000
III 正味財産期末残高	8,680,614	8,275,527	405,087
IV 基金増減の部			
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	0	0	0
基金期末残高	0	0	0
V 正味財産期末残高	8,680,614	8,275,527	405,087



## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産の減価償却は定率法を採用している。

#### (2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

当期末における基本財産及び特定資産の増加額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
小計	0	0	0	0
特定資産				
特定寄付金 A	700,000	0	0	700,000
特定寄付金 B	1,000,000	0	350,000	650,000
特定寄付金 C	0	370,000	0	370,000
小計	1,700,000	0	350,000	1,720,000
合計	1,700,000	370,000	350,000	1,720,000

注) 特定寄付金 A：調査・研究委員会活動費

特定寄付金 B：地下水学振興基金（若手研究者の研究進化）

特定寄付金 C：60周年記念事業費

### 3. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	289,786	289,784	2
合計	289,786	289,784	2

以上

## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産および特定資産については財務諸表に対する注記2. に記載のとおりである。

### 2. 引当金の明細

当期末において引当金を計上していない。

以上

## 2018年度 財産目録

2019年03月31日 現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
<b>【資産の部】</b>			
<b>I 流動資産</b>			
1 現金預金			8,657,261
1) 現金	手元保管	運転資金として	610
2) 振替貯金	ゆうちょ銀行(社団法人口座)	運転資金として(特定寄付金14万円を除く)	2,441,111
3) 普通預金	みずほ銀行(社団法人口座)	運転資金として	6,167,040
	みずほ銀行(小口口座)	運転資金として	48,487
	みずほ銀行(寄付金口座)	寄付金金利分として(特定寄付金158万円を除く)	13
2 未収金			243,083
	市民コミュニケーション委員会会計	2018年度委員会 運営費用未収金	115,432
	調査・研究委員会会計	2018年度委員会 運営費用未収金	127,651
3 前渡金			625,268
	編集委員会会計	2019年度委員会 運営費用前渡し	300,000
	行事委員会会計	2019年度委員会 運営費用前渡し	325,268
4 前払金	フクダエステート	事務局家賃(4月～8月分)	540,000
流動資産合計			10,065,612
<b>II 固定資産</b>			
1 特定資産			
1) 特定寄付金A	みずほ銀行(寄付金口座)	調査・研究委員会活動費	700,000
2) 特定寄付金B	みずほ銀行(寄付金口座)	地下水学振興基金(若手研究者の研究進化)	650,000
3) 特定寄付金C	ゆうちょ銀行(社団法人口座)	60周年記念事業費	140,000
	みずほ銀行(寄付金口座)	60周年記念事業費	230,000
2 その他の固定資産			
1) 敷金	フクダエステート	事務局敷金	300,000
2) 什器備品	パソコン1:学会事務局	公益目的保有財産であり, 公1～公4, その他事業および管理事務に使用している.	1
	パソコン2:学会事務局	公益目的保有財産であり, 公1～公4, その他事業および管理事務に使用している.	1
固定資産合計			2,020,002
資産合計			12,085,614
<b>【負債の部】</b>			
<b>I 流動負債</b>			
1 未払金			0
2 預り金			164,000
	行事委員会会計口座	2018年度委員会 預り金	150,000
	事務局経費	2018年度委員会 預り金	14,000
3 前受金	2019年度分会費	公益目的事業, 法人会計に関わる前受分	3,241,000
流動負債合計			3,405,000
<b>II 固定負債</b>			
固定負債合計			0
負債合計			3,405,000
正味財産			8,680,614

## 監査報告書

2019年4月12日

公益社団法人 日本地下水学会

代表理事 会長 谷口 真人 殿

公益社団法人 日本地下水学会

監事 平山 光信

監事 深田 園子



私たち監事は、2018年4月1日から2019年3月31日までの公益社団法人 日本地下水学会 第9期事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

### 1. 監査の方法及びその内容

監事は、理事及び事務局等と意思疎通を図り、情報の取集及び監査の環境整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事及び事務局等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、事務局等において業務及び財産の状況を調査いたしました。

さらに、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（財産目録、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産諸表に対する注記）及び附属明細書等について検討いたしました。

### 2. 監査の結果

#### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及び附属明細書は、法令及び定款に従い、公益社団法人 日本地下水学会の業務運営の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

#### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及び附属明細書は、公益社団法人 日本地下水学会の財産および損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上